



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、当機構の活動にご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

本年も有明海再生への活動に全力で取り組んでいく所存です。ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

NPO法人有明海再生機構 理事長 楠田哲也



福岡都市圏環境対策支援事業 活動報告会に参加しました



平成19年9月29日(土)、アクロス福岡(福岡市天神)において、福岡市都市圏広域行政事業組合が支援している、筑後川流域・水源地域及び有明海で環境保護活動を行っている環境NPOの活動発表会が開催され、当機構も参加しました。

この報告会は、筑後川流域や有明海で環境教育、森林保全、清掃活動等環境保全活動を実施している団体の取組を紹介し、貴重な水を福岡都市圏が享受していることを理解していただくために開催されました。

参加者は、73名で、当日は支援を受けている8団体から清掃活動等の活動状況が報告されました。当機構としては、有明海の現状と有明海の再生に向けた調査研究など平成18年度の活動状況について発表しました。また、他の団体との意見交換等も行い、上流から下流、そして海まで、流域での取組・連携の必要性を感じました。

なお、この支援事業の一環として、有明海のことを福岡都市圏の方々を知っていただくために、次のとおり、有明海講演会を計画しています。

詳細については、決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。



<有明海講演会>

日 時……………平成20年3月8日(土) 13時30分から

場 所……………天神ビル11階(福岡市天神)

テーマ……………有明海の歴史と文化(予定)

川上義幸氏が顧問に就任

有明海に深い関心を持たれている川上義幸氏(前佐賀県副知事)に当機構の顧問に就任していただきました。川上氏に有明海再生への思い等を伺いました。

今シーズンも、タイラギ漁が厳しいというニュースが流れました。平成12年のノリ不作をはじめ二枚貝の死滅など、いわゆる有明海異変といわれて7年の歳月が流れようとしています。

国や地方でその対策として各種対応がとられてきていますが、抜本的なところまでにはいたっていないと思います。国では、有明海再生に向けて特措法が制定され、海底耕運や覆砂など事業の重点化、そして、評価委員会を中心とする原因究明に関する調査研究の整理が行われ、地方では、具体的な事業の実施が行われてきました。

特に、調査研究分野においては、佐賀県の支援のもとに、大学等の調査研究分野での調整連携の強化を図ることを目的とした「有明海再生機構」を立ち上げました。

今、大学等で個別に実施されている調査研究のネットワーク化は着実に進んでいます。国が進めている調査研究マスタープランにも有明海再生機構が中心的な役割を果たしています。

これからも、副知事時代と同様に顧問として有明海再生に取り組んでいきます。

引き続き皆様のご支援ご指導をよろしくお願いいたします。



有明海講座レポート

平成19年度有明海講座は19年9月から20年2月まで、毎月1回(計6回)開催しております。これまでの開催状況についてご報告します。

9月の有明海講座 「有明海の鳥」

日本野鳥の会 佐賀県支部 田中丸 稚雄氏

9月16日、今年度第1回目の有明海講座を開催しました。

今回は「有明海の鳥」をテーマに、日本野鳥の会佐賀県支部の田中丸さんを講師に迎え、有明海講座初の野外講座として開催しました。

接近していた台風による悪天候の予報がでていましたが、当日は思いがけない好天に恵まれ、無事、開催することが出来ました。

講座には子供を含む30名ほどの参加者があり、初めに田中丸さんから有明海の野鳥についての解説を受け、その後、実際に野鳥の観察を行いました。

有明海は日本最大規模の渡り鳥の渡来地となっており、今回、有明海で羽を休めるたくさんの野鳥を目の当たりにして、有明海が自然界で果たしている大きな役割を実感するとともに、有明海は人間だけのものではなく、多くの生き物たちのためにも守っていかねばならないことを改めて感じました。



10月の有明海講座 「有明海と筑後川」

国土交通省 筑後川 河川事務所 入江 靖所長

10月27日の講座では「有明海と筑後川」と題して有明海に注ぐ河川の中でも最も大きな筑後川について、国土交通省筑後川河川事務所の入江靖所長に講演していただきました。

有明海と筑後川は、河川流量による影響、河川上流域からの土砂供給、有明海からのガタ土の供給や流域全体のゴミ問題など密接に関わっており、河川管理者として、治水・利水・環境保全などの観点から筑後川をどのように管理しているのかを詳しく話していただきました。

筑後川についての雑学的な話も織り交ぜてお話があり、参加者は熱心に聴講していました。



11月の有明海講座 「日本と韓国における干潟資源の伝統的利用」

佐賀大学 武田 淳教授

11月17日の有明海講座は、佐賀市内にあるショッピングセンターにおいて、「日本と韓国における干潟資源の伝統的利用～採捕技術と食文化～」と題し、佐賀大学の武田淳教授に講演していただきました。

韓国には有明海を超える大きな干潟があること、韓国の伝統的な漁法や、有明海では見られなくなったアゲマキなどが今でも大量に獲られている様子などが紹介されました。

ショッピングセンターでの開催ということで、聴講者には子供連れの方も在り、子供も武田教授の話熱心に聴いていました。



★今後の有明海講座計画を3ページに掲載しております。多数の御参加をお待ちしております。

公開干潟分科会開催レポート

9月30日に公開干潟分科会を佐賀県農協会館(佐賀市)にて開催しました。

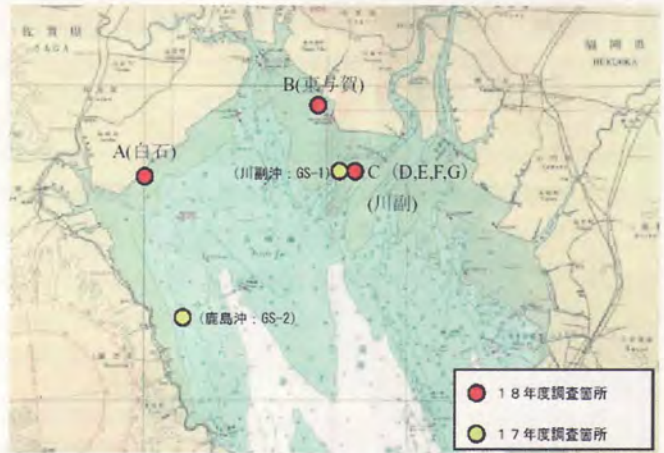
当機構では、平成17年度(～平成21年度)から佐賀県の委託事業として「干潟・浅海域における底質の物質循環に関する研究」を実施しており、この2年間の研究成果を公開干潟分科会として発表しました。

第1部では、長崎大学松岡教授ら干潟分科会の4人の先生方から、平成17,18年度に採取した底泥(深さ1～4mの鉛直堆積物)の分析結果などをもとに有明海湾奥部の底質環境の長期的な変化について、それぞれ専門の分野から成果を発表していただきました。

第2部では、第1部の発表を踏まえ「過去から現在までの干潟・浅海域における底質環境の変遷」をテーマに総合討論を行いました。総合討論では、底泥の堆積速度について意見交換がなされるとともに、底質環境の長期的な変化について議論がなされました。

また、会場からも今後の研究等について貴重なご意見をいただきました。

※公開干潟分科会の詳細については、後日冊子等により公表する予定です。



◇有明海知っ得情報◇ 有明海(1月～3月)旬の魚 ()内はおいしい食べ方

▲マアナゴ(蒲焼き)

▲タイラギ(刺身・塩焼き・粕漬け)

▲クマサルボウ(刺身・すし種)

有明海講座情報 ～入場無料・お問い合わせは当機構事務局まで～				
第5回	1月19日(土) 13時30分～	風景で見る有明海	NPO法人有明海ぐるりんネット 北村 和秀氏	モラージュ佐賀 2階 モラージュホール
第6回	2月9日(土) 13時30分～	有明海の潮流潮汐のメカニズム	九州大学 大学院工学研究院 小松 利光 教授	アバンセ 研修室 3

平成19年度支援会員のご紹介

NPO法人有明海再生機構は、団体、個人等各界のご支援を得て平成17年6月に発足し、有明海再生に向けて大学、国、県の研究機関や企業等と連携して調査研究やシンポジウムの開催など意欲的に活動しております。

※平成19年11月末現在で会費を納入いただいている会員のうち、掲載についてご承諾いただいた会員名のみ掲載(五十音順・敬称略)

○支援会員(企業・団体)

味の素(株) 九州事業所
池田建設工業(株) 佐賀営業所
いであ(株) 九州支店
(株)エスジー技術コンサルタント
王子板紙(株) 佐賀工場
岡本建設(株)
環境保全(株) 九州支社
(財)九州環境管理協会
(株)九州コーユー
(財)九州産業衛生協会
九州積水工業(株)
九州電力(株)
(株)九電工 佐賀支店
(株)建設技術研究所 九州支社
(株)建設技術センター
国際技術コンサルタント(株)
五洋建設(株) 佐賀営業所
佐賀県有明海沿岸市町水産振興協議会
佐賀県有明海漁業協同組合
(財)佐賀県環境科学検査協会
(社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会
(財)佐賀県土木建築技術協会
(株)佐賀銀行
佐賀三洋工業(株)
(株)佐電工
佐賀リコー(株)
(株)サン海苔
(株)SUMCO 九州事業所
(株)下村建設
(株)精工コンサルタント

(株)大義建設
大成建設(株) 九州支店
(株)高森組
第一製網(株)
東亜工機(株)
(株)東京久栄 福岡支店
(株)東京建設コンサルタント 九州支店
東洋建設(株) 九州支店
(株)戸上電機製作所
(株)中野建設
西鉄シー・イー・コンサルタント(株)
西日本技術開発(株)
西松建設(株)九州支店
(株)日水コン
日東製網(株)
日本建設技術(株)
日本地研(株)
深町建設(株)
(株)福岡商店
(株)富士建設
藤永建設(株)
復建調査設計(株) 福岡支社
芙蓉海洋開発(株) 九州センター
扶桑化学工業(株) 福岡営業所
増田建設(株)
松尾建設(株)
(株)丸福建設
(株)ミソタ
みらい建設工業(株) 九州支店
牟田建設(株)

(計60団体)

○支援会員(個人)

上村 洋司
江口 隆陽
鬼橋 進
片岡 稔
川上 義幸
川崎 俊広
久保 順治
近藤 潤三
崎田 松男
角田 勝民
多久島 正孝
武富 一三
筒井 善一
中島 英男
中野 啓
野田 浩
服部 二郎
藤井 弘治
松岡 正章
森永 浩通
吉津 憲
吉村 弘美

(計29名)

支援会員募集のご案内 ※詳しくは事務局までお問い合わせください。

有明海の再生を願い、当機構の主旨にご賛同いただき、活動を支援して下さる支援会員(企業・団体・個人)を募集しております。

年会費: 企業・団体…一口 5万円 個人…一口 1万円

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
早いもので当機構設立後3回目のお正月を迎えます。
今年は新年早々マスタープラン作成作業に追われそうですが有明海再生に向け全力で取り組んでいきます。
この一年が皆様にとって幸多き年でありますように。
今年もどうぞよろしく願いいたします。

発行

NPO法人 有明海再生機構事務局

〒840-0833 佐賀市中の小路4-30高取ビル302

TEL(FAX兼用): 0952-26-7050

E-mail: npo-ariake@ceres.ocn.ne.jp

H P: http://www.npo-ariake.jp/